

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、ディスクロージャー誌「117期営業のご報告(2024年4月1日~2025年3月31日)」を作成いたしましたので、ご高覧いただきたいと存じます。

本誌では、決算の概要や業務内容、地域貢献に関する取組み状況などをまとめており、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

2024年度の国内経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増大などを受け、緩やかな回復基調がみられました。

鹿児島県経済におきましても、観光・宿泊関連において、持ち直しの動きがみられますが、資材費・燃料費の高止まりや労働力不足の影響等に、注意が必要な状況にあります。

このような環境のもと、私ども南日本銀行グループは、取引先事業者に対して迅速な資金繰り支援を行うとともに、WIN-WINネット業務(新販路開拓支援業務)を中心とした各種支援により、事業者及び個人のお客さまにしっかりと寄り添い、地域経済の活性化に尽力してまいります。

変革ステージと位置付けた第1次中期経営計画「インテグリティある組織への変革」は、最終年度となりますが、皆さまからの厚いご支援のもと、順調に進捗しています。

この変革ステージにおいて、将来の成長に向けた重点戦略の一つとして、人事諸制度改革に取り組んでいます。新しい人事制度の枠組みを「TSUNAGU(つなぐ)」と名付け、お客さまの多様なニーズに対応できる「プロの人材」を数多く育成することを目指しています。

また、データ分析やAIを活用できる「データ人材」の育成にも積極的に取り組んでいます。こうした人材の育成を通じて「WIN-WINネット業務」のイノベーションを進め、AIを用いてお取引先から収集したデータを分析・可視化し、より効果的な経営支援を実現することで、地域のサステナビリティ向上に繋げてまいります。

経済環境は厳しさを増しておりますが、多様化する中小規模事業者の経営課題の解決を力強く支える『地域に責任を持つ“真の金融機関”』として、南日本銀行グループの総力を挙げ、地域の皆さまとともに発展していくために邁進してまいりますので、今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2025年7月
取締役頭取 田中 暁爾きょうじ